

3 交通事業会計

〔概要〕

令和3年度の交通事業の運営については、令和3年9月15日に発生した重大事故の反省をもとに、事故再発防止対策の強化に取り組みながら、利用者に安心してバスに乗車していただくため、徹底した感染防止策を実施し、公共交通の維持に努めたところです。

業務量については、乗合事業では、稼働バス台数は 17,658 台(前年度比 101.1%)、走行キロ数は 2,630 千km(前年度比 99.4%)、輸送人員は 1,724 千人(前年度比 100.6%)となりました。

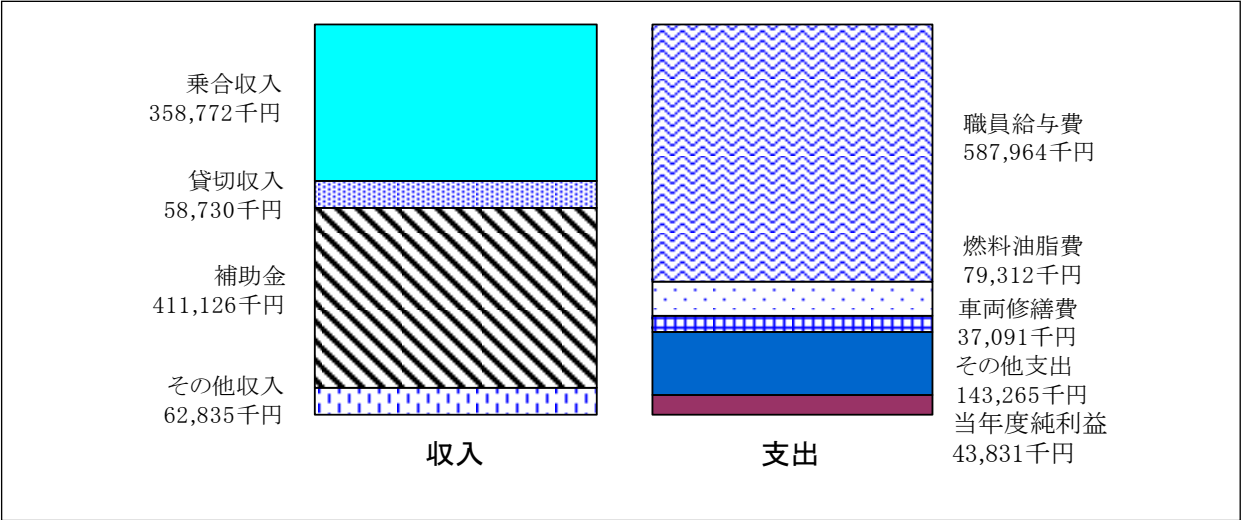
一方、貸切事業では、稼働バス台数は 1,090 台(前年度比 140.1%)、走行キロ数は 80 千km(前年度比 150.6%)、輸送人員は 24 千人(前年度比 149.1%)となりました。

経営成績については、事業収益は 891,463 千円に、事業費用は 847,632 千円となり、収支差引の結果、当年度純利益は 43,831 千円となりました。

これにより、当年度純利益で前年度からの繰越欠損金を処理した結果、当年度未処分利益剰余金は 21,593 千円となりました。

資本的収支については、収入 165,244 千円、支出 291,215 千円となり、差引不足額 125,971 千円となりましたが、これは、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 8,725 千円及び過年度分損益勘定留保資金 117,246 千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕

